

平成 29 年度

広島大学理学研究科 数学教室談話会

平成 29 年 5 月 30 日 (火) 午後 1 時
広島大学理学部 B 棟 7 階 B707 教室

小林 毅 氏 (奈良女子大学)

題目：折り紙に潜む様々な数学構造

最近建築学を含むいくつかの研究領域で折り紙，特に平らに折りたたむことのできる平坦折り紙，の研究が進んでいる．人工衛星のソーラーパネルを折りたたむために考案された「ミウラ折り」はこのような平坦折り紙の例になっているが，このミウラ折りの変形版と解釈できる平坦折り紙がこの分野の権威である R.Lang によって提出されている．ところでこの Lang の折り紙のパターンは Thurston の 3 次元多様体の幾何学に関する講義録で導入されている 2 次元トーラスの相似構造の展開写像の像に似ている．今回はこの話題を中心に折り紙と数学の幾つかの関わりについて紹介したい．

同日午後 2 時より理学部 B 棟 7 階応接会議談話室 (B710) において講演者を囲んでのお茶会を開きます．お気軽にご参加ください。

問合せ先:

広島大学理学研究科数学教室談話会係

〒 739-8526 東広島市鏡山 1-3-1

電話: 082-424-7330 (川下美潮)

email: kawasita@hiroshima-u.ac.jp

最新の教室情報はホームページをご覧ください。

<http://www.math.sci.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>

※ 本セミナーは、5 研究科共同セミナーを兼ねています。